

NO.

DATE

「私が校長になったら宿題をどうするか」

チーム名 レジスタンス

アスミラ塾

調べ学習

2.4ページ

3ページ

はじめに

	2000年	2003年	2006年	2009年
1位	日本	香港	台湾	上海
2位	韓国	フィンランド	フィンランド	シンガポール
3位	ニュージーランド	韓国	香港	香港
4位	フィンランド	オランダ	韓国	韓国
5位	オーストラリア	リヒテンシュタイン	オランダ	台湾
6位	カナダ	日本	スイス	フィンランド
7位	スイス	カナダ	カナダ	リヒテンシュタイン
8位	イギリス	ベルギー	マカオ	スイス
9位	ベルギー	マカオ	リヒテンシュタイン	日本
10位	フランス	スイス	日本	カナダ

私達が"校長になったら宿題を廃止しない方がいい"と思います。その理由は、2000年、2003年、2006年、2009年に実施された、国際学力テスト

PISAの結果を見ると、2000年の最初には日本は1位ですが、年々日本は順位が下がってきていることがわかります。その一方で世界でも長い時間家庭学習をしている上海が、2009年にはタイツ1位になっているので、日本と上海の家庭学習時間がどのくらい違うのかをまとめてみました。

日本と上海の家庭学習時間の違い

上海の学力がなぜ高いのか疑問に思い、知らべてみたところ、家庭学習時間が上海では13.8時間、日本では3.8時間と約3.5倍以上の時間、家庭学習をしていることがわかりました。

この結果から日本は家庭学習時間が少ないことがわかります。

日本はちょっとでも家庭学習時間を伸ばす対策を考えた方がいいです。

例えば各学校で家庭学習委員会を設立し、毎週月曜日に家庭学習時間の集計をして少くないクラスには足りない学習時間を報告して、足りない時間を自主学習という形で宿題を出して確実に家庭学習時間を確保するということです。

まとめ

以上の結果から、日本は家庭学習
日時間が不足しているため、宿題を廃
止してしまうとさらに学力が下がり、
将来困る人が増えると思うので、
宿題は廃止せず、あった方が良く
と思います。

感想

今回のリサーチラーニングで宿題のことでここまで
真剣にかんがえたのは初めてだったのでとても苦労し
ました。ただ、その苦労のおかげで宿題に対する
見方が大きく変わりました。この経験をいかして、これ
からも宿題をかんがえておきたいです。